

令和6年（2024年）5月31日  
 午後2時45分～午後3時30分  
 於：高層棟4階 特別会議室  
 学校教育課 教育未来創生室

令和6年度 第3回政策調整会議  
 中学校の全員給食の実施方式（整備方針）について

本市が目指す中学校の全員給食については、健都イノベーションパークにおける、民設民営のセンター方式（保温食缶）で実施することとします。  
 全員給食開始は令和10年度（2028年度）中を目指し、必要な準備を進めます。

1 趣旨

検討を進めている中学校の全員給食の実施にあたっては、安心・安全で、生徒全員がおいしく、楽しく食べることができる給食とするだけでなく、健康・医療のまちづくりを進める本市の強みを生かした、給食を出発とした「生活習慣病予防の基礎づくり」を目指しています。

実施手法については、センター方式の採用を前提とし、整備にあたっての条件を満たす、健都イノベーションパーク（以下「健都」という。）を候補地として検討を進めてきましたが、物価高騰の影響により、事業者の参加意欲が低下し、事業者募集に踏み切れず、並行して他の方式も含めて検討を継続してきました。

今般、令和3年度（2021年度）第11回政策調整会議で確認した内容を踏まえ、中学校の全員給食を推進するため、改めて実施方式と全員給食開始の目標年度を確認するものです。

（主な検討経過）

| 時期                   | 内容   |
|----------------------|--|
| 令和3年（2021年）4月        | 令和2年度（2020年度）に開催した「吹田市中学校給食在り方検討会議」において、選択制から全員給食とする方向性について提言                        |
| 令和3年8月～令和4年（2022年）7月 | 摂津市との共同による、健都におけるセンター方式での実施の検討（令和8年度（2026年度）中の開始を目標）（令和3年度（2021年度）第11回政策調整会議）        |
| 令和4年7月               | 摂津市との給食調理施設の共同運用を、給食に対するコンセプトの違いから断念   |
| 令和4年11月              | 本市単独での給食調理施設の整備に向け、中学校給食の提供を想定した第2アライアンス棟の整備方針を確認（令和4年度（2022年度）第1回健康・医療のまちづくり推進本部会議） |

## 2 実施方式及び開始目標年度

### (1) 実施方式

中学校の全員給食は、長期的な安定供給や経費面などを総合的に判断すると、健都での民設民営のセンター方式(※)の実施が最適であるため、健都にて民設民営の給食調理場を有する施設を整備することにより実施するものです。なお、適温での給食提供ができることなどから、保温食缶での配送を行います。

今後策定予定の「中学校の全員給食に向けた基本計画」(以下「基本計画」という。)を踏まえた給食調理事業の運営を条件の一つとして、第2アライアンス棟整備運営事業者(以下「整備運営事業者」という。)の募集を行い、入居する給食調理事業へ給食調理等を委託することで、中学校給食の提供を行うものです。(「6 施設の整備予定地」を参照)

※民設民営のセンター方式…民間事業者が給食の調理場を整備した上で、一定期間の給食調理等委託契約に基づき、給食調理事業者が給食調理や配送等の業務を実施する方式

### (2) 開始の目標年度

経済状況に一定の落ち着きがみられ、事業採算を見通せる状況となったことから、今年度中の事業者募集に向けて、補正予算を提案するなど必要な手続を行います。

施設的设计・建設、運営開始準備等に要する期間を考慮し、令和10年度中の全員給食開始を目指します。

## 3 利点と課題

### (1) 利点

#### ア 調理人材等の不足への対応

給食調理人材の確保が課題ですが、調理拠点を集約することで、人材不足への対応に有利となります。

#### イ 安定的な給食提供

整備予定地は、本市に隣接する摂津市域であるため、比較的短時間(全校に30分以内)で各中学校に給食を配送でき、日々の給食提供を安定的に行えるとともに、配送費の上昇の影響を受けにくくなります。また、長期間の給食調理等委託契約(15年~30年程度で検討)を行うことで、将来の調達コスト上昇などの影響を抑えることができ、長期間にわたって安定的に給食提供を受けることができます。

#### ウ 食育の推進

健都で実施することで、健都に集積する関係機関と連携し、健康寿命延伸につながる「生活習慣病予防の基礎づくり」となる給食の提供に、より積極的に取り組むことができます。

さらに、民設民営での実施により、民間の持つ柔軟な発想をもった取組や産学官連携による多様な取組を実施することができます。それにより新たな知見が創出され、社会実装につなげることで、健都を「食と健康」の中心拠点とした、地域住民を巻き込んだ幅広い世代の生活習慣病予防の基礎づくりにつながる取組も期待できます。

## (2) 課題

### ア 公募条件の精査

民設民営の施設のため、給食調理等委託の契約期間や委託料水準といった条件面から公募が成立しないリスクがあり、事前に公募条件等を精査する必要があります。

### イ 栄養教諭等の配置

民設民営では、栄養教諭の国の配置基準はありませんが、給食を出発点とした生活習慣病予防の基礎づくりを進めるために、中学校における食育の一層の推進は重要であり、給食の衛生管理やアレルギー対応も含めて栄養教諭等の果たす役割は大きいです。これらの担い手を引き続き配置するために、市として配置方策を検討していく必要があります。

## 4 想定される費用等（詳細については、今後の予算査定等において精査されるものです。）

### (1) 給食調理等委託料

給食調理等に要する費用…17.1 億円程度/年

人件費、光熱水費、施設の減価償却費など、給食の配送費、配膳費など

（現行の給食調理等委託料の水準から想定し、食材費（給食費として保護者等から徴収）は除いています。）

### (2) 準備に係る費用

給食配膳室等改修工事…4.3 億円程度（実施設計委託料等を含む。）

現在、喫食率 50%を想定して整備している各中学校の給食配膳室について、全員給食で保温食缶による配送に対応できるよう改修工事が必要です。令和7年度（2025年度）以降、3か年で毎年6校程度ずつ、夏季休業期間を中心に配膳室の出入口扉の改修や空調機器の設置、給食搬入動線の整備などの工事を、必要に応じ、計画的に行っていきます。

### (3) その他の検討事項

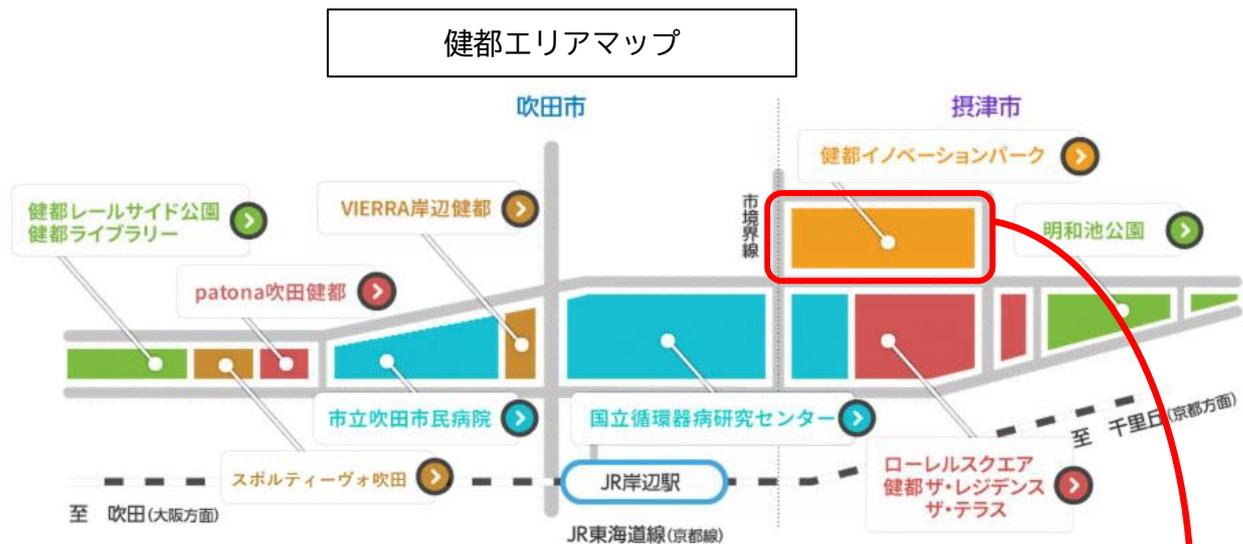
配膳方法の変更に伴う備品購入や老朽化している冷蔵庫などの備品更新を計画的に行っていきます。

また、献立管理システムの改修や中学校給食費の公会計化と就学援助費への費目追加の検討、これに伴う学校徴収金システムの対応などの検討が必要になります。

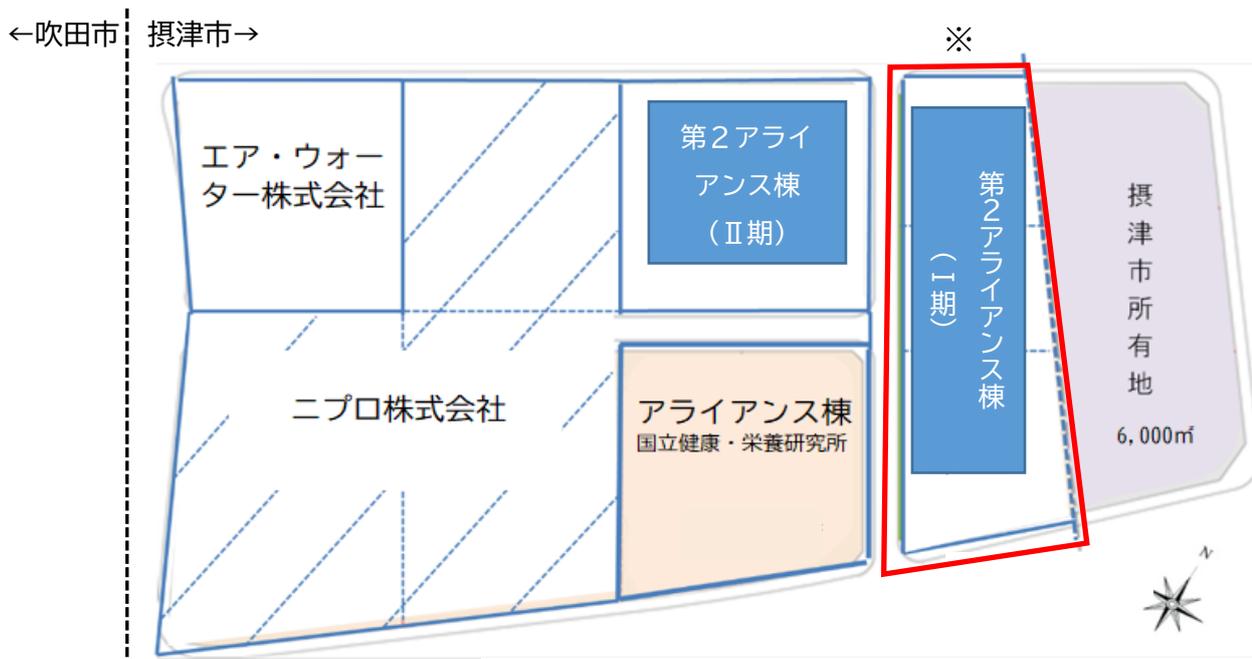
## 5 今後の予定

| 時期             | 内容                         |
|----------------|----------------------------|
| 令和6年（2024年）8月  | 教育委員会で基本計画を策定              |
| 令和6年度（2024年度）中 | 給食調理等委託料及び給食配膳室改修に向けた予算案提案 |
|                | 整備運営事業者の募集開始               |
| 令和7年度以降        | 整備運営事業者の決定                 |
|                | 順次、中学校の給食配膳室等の改修           |
| 令和10年度中        | 全員給食の開始                    |

6 施設の整備予定地



健都インノベーションパーク画地図



Ⅰ期画地=摂津市千里丘新町 200 番 26 ほか 15 筆

Ⅱ期画地=摂津市千里丘新町 200 番 1

※四角囲み部分 (約 5,870 ㎡) に食の実装施設を含む民設民営の施設 (第2アライアンス棟 (Ⅰ期)) を整備し、当該施設から給食の提供を受ける。